

夢をカタチにできる仕事づくり

目指す姿

- ◆ 中山間地域に暮らしながら、働き続けられる環境が維持され、多様な企業や人材が、地域ならではの資源や基盤を生かして、新たな事業にチャレンジしています。
- ◆ とりわけ、中山間地域の基幹産業である農林水産業では、デジタル技術を導入しながら生産性を向上させ、地域資源や雇用労働力を有効に活用しつつ規模拡大に取り組むなど、持続可能な企業経営にチャレンジする担い手が増加しています。
- ◆ 観光面では、サイクリング、カヤックなどの体験や地域で育まれてきた伝統芸能の鑑賞、情緒あふれる古民家での宿泊体験など、中山間地域の資源を生かした観光サービスや観光商品等が充実し、国内外からの多くの観光客が周遊しています。

これまでの主な取組成果

元気な 農林水産業	● 県産農産物の生産拡大	<ul style="list-style-type: none"> ✓ キャベツ生産額の倍増(H26:2億円 ⇒ H30: 4億円) ✓ レモン生産額の倍増 (H22:9億円 ⇒ H29:17億円)
	● 経営力の高い担い手の育成	✓ 農産物生産額のうち経営力の高い担い手のシェアが増加 (H27:38.7% ⇒ H30:40.5%)
	● 県産材の供給拡大	✓ 住宅等への県産材供給量が2倍以上増加 (H27:1.9万m ³ ⇒ H30:4.5万m ³)
	● 全国シェア6割を占める 広島かきの生産増加	✓ 広島かきの生産額増加 (H22:154億円 ⇒ H30:169億円)
事業展開・ 創業支援	● サテライトオフィスの誘致促進	✓ 2年間で10件のサテライトオフィスが進出決定 (H30:4件, R1:6件)
	● 創業件数の増加	✓ 4年間で84件の創業 (H27:17件, H28:27件, H29:22件, H30:18件)
観光	● 総観光客数の増加	✓ 全域過疎市町への総観光客数が増加 (H23:12,955千人 ⇒ H29:15,840千人)
	● 体験型教育旅行の受入拡大	✓ 体験型教育旅行の受入人数が約6倍に増加 (H25:1,800人 ⇒ H30:10,518人)

農林水産業

(1) 生産性の高い持続可能な農林水産業の確立

事業展開・ 創業支援

(2) 地域特性を生かした事業展開や創業の促進

観 光

(3) 地域資源を生かし、つなげる、魅力ある観光地づくり

現状と課題

- 農林水産業においては、規模拡大等を通じ担い手が生産額を増加させるなどの動きがみられます。しかしながら、人口減少、少子・高齢化が進むことから、生産基盤の維持が困難となるリスクが顕在化してくると考えられます。このため、担い手の経営力や生産性を向上させることで、収益性の高い持続可能な経営を確立し、こうした経営体が兼業農家などの多様な主体と連携しながら中山間地域の農林水産業を支えていく必要があります。
- また、豊かな自然と共生し、開放的でストレスフリーな中山間地域の環境は、ウィズ/アフターコロナ時代における地域の強みであり、過密化した大都市圏からの企業の分散需要を満たす有力な選択肢となります。こうしたことを踏まえ、新たなワークスタイルの受け皿となる企業のサテライトオフィスの誘致などに積極的に取り組んでいく必要があります。
- 地域における経済活動等の受け皿として欠くことのできない中小企業については、人材の不足や事業承継が経営上の大きな課題となっており、今後もその状況は一段と厳しさを増すことが見込まれます。このため、専門的な知見やスキルを有する外部人材の力を効果的に取り込むことによって、様々な課題を抱える中小企業の新たな成長につなげていくことが求められます。
- さらに、新型コロナによる社会経済活動への影響が長期化する中で、インターネットを通じた配送サービスなどの需要が増加しています。こうしたニーズを積極的に取り込み、新たなビジネス展開や販売チャネルの多様化を促進することによって、地域産業の活性化につなげていくことが求められます。
- また、観光については、新型コロナの拡大によって、安全・安心へのニーズが高まるなど、観光客の意識や価値観が変容していることから、ウィズ/アフターコロナ時代における「新しい生活様式」なども踏まえながら、中山間地域ならではの価値を提供することによって、さらなる観光需要の創出につなげていく必要があります。

(1) 生産性の高い持続可能な農林水産業の確立

ポイント

◆ 農業 ～地域の核となる力強い経営体の確保・育成

- 経営体個々の発展段階に応じて専門家派遣や生産工程管理等への支援を行うなど、企業経営体の育成に取り組みます。また、農産物の生産から流通、加工、消費に至るまでのデータを相互活用し、効率的な受発注・配送が可能となる仕組みづくりに取り組みます。
- 需要に応じた高収益作物の生産拡大を推進するとともに、ロボットやドローン、複合環境制御技術等の導入を支援することで、生産性の向上を図ります。
- 全国から意欲ある若い人材を呼び込むために、本県農業の魅力を積極的に発信するとともに、相談体制や実践型の研修制度等を充実し、新規就業者の確保・育成を強化します。また、組織運営のノウハウや資金力を有する企業の農業参入も促進します。
- 担い手が希望する農地と地権者の意向の一元管理に取り組み、効率的なマッチングを進め、担い手の規模拡大につなげます。また、スマート農業に対応できるようほ場の大区画化や水田の畑地化等の基盤整備を行い、生産性の高い優良農地への転換を進めます。

ポイント

◆ 畜産業 ～持続可能な広島和牛生産体制の構築

- 広島血統を代表する比婆牛の価値要素を更に高め、首都圏の著名シェフの高い評価を発信することにより、県内高級飲食店での取扱いの拡大を進め、ブランド化を図ります。
- 肥育・繁殖経営の規模拡大、受精卵産子の安定供給、リタイヤする経営の継承など、生産体制を構築するとともに、スマート農業やGAPなどのモデル波及に取り組みすることで、生産性を高め、持続性の高い企業経営体の確保・育成を進めます。

ポイント

◆ 林業 ～森林資源経営サイクルの構築・森林資源利用フローの推進

- 森林の循環利用のサイクルを構築するため、航空レーザ測量データ解析結果を基に、林業経営適地を設定し、林業経営体への集約化を進めるとともに、森林経営を担う長期的視点を有した経営力の高い林業経営体の育成を進めます。また、森林のデジタル情報基盤の構築やIoT技術を活用したシカ被害抑制対策など、再造林を確実に実施するために必要な技術の確立を進めます。
- 「広島県県産木材利用促進条例」に基づき組織化した「ひろしま木づかい推進協議会」を中心として、住宅に加え、公共建築物や店舗等の木造化・木質化、木製家具等での高付加価値製品の開発や販路拡大に取り組みます。

ポイント

◆ 水産業 ～持続的かつ安定的な水産資源の生産供給体制の構築

- デジタル技術を活用したかき生産の効率化や安定化を図るとともに、養殖資材の適正処理など環境に配慮した養殖の推進により国際認証等の取得を進め、海外輸出にも対応可能な持続的なかきの生産体制の構築を図ります。
- 水産資源の管理や漁場環境の整備、最先端の漁獲技術の導入などにより、本県及び瀬戸内海全体での水産資源の回復と保全を図り、安定的な漁獲量を確保します。また、新鮮さや多彩な魚種を有する強みを生かして、瀬戸内の地魚のブランド力の向上に取り組みます。

▶ 持続的な農業生産活動の推進

- 農地・農業用施設を保全していく活動や、個々の集落に適した鳥獣被害防止対策など、担い手と兼業農家などが連携して、地域農業を維持する取組を支援します。また、中山間地域農業を活性化させるため、食育や農業体験などの地産地消の取組により、農業を軸とした交流人口の拡大を図ります。
- さらに、新型コロナ後は、「適切な分散」という中山間地域の価値を生かしたビジネスモデルに取り組む農林水産業者を支援するとともに、安全・安心な農林水産物に対する関心が更に高まることが予想されることから、安定的かつ持続的な供給を図ります。

(2) 地域特性を生かした事業展開や創業の促進

ポイント

◆ 新たな事業展開に向けたチャレンジ支援

- 時間や場所にとらわれない柔軟な働き方や仕事も暮らしも充実させるワークスタイルへの関心の高まりを受け、多様な人材のビジネス展開や働く場の拡大に向けて、里山ならではの環境やアクティビティを生かした戦略的な取組を推進していく必要があります。
- このため、地域の価値に共鳴するビジネス人材の新たなチャレンジに向けて、創業支援ポータルサイトによる情報発信や、創業フェスティバルの開催などを通じた潜在的創業希望者の拡大を図ります。また、ひろしま創業サポートセンターを中核機関とした、行政、経済団体、金融機関等で構成する「オール広島創業支援ネットワーク」による創業支援や、(公財)ひろしま産業振興機構等の既存制度の活用による新たな事業展開の促進を図ります。
- さらに、中山間地域への進出に意欲を持つ企業のサテライトオフィス誘致に取り組む市町を支援するとともに、企業の人材確保に向けて、即戦力となる県内外の専門人材（エンジニア等）とのマッチングの仕組みを構築します。

ポイント

◆ 中小企業の成長支援

- 中小企業の人材確保や戦略的な事業展開に向けて、プロフェッショナル人材とのマッチング支援を推進するとともに、多様なスキルや専門的な知見を生かして企業の課題解決に貢献しようとする首都圏等の副業・兼業人材と地域の事業者のマッチングの仕組みづくりに取り組む市町を支援し、意欲ある事業者の新たな成長を後押しします。
- また、専門家チームによる集中支援や技術・経営力評価書の発行を通じた経営支援、成長のための資金支援を実施します。加えて、サービス産業の生産性向上に向けたデータの分析や活用支援、イノベーションの創出に向けた組織づくりを支援します。

▶ 雇用機会の創出・就業促進

- ひろしましごと館におけるキャリアコンサルティングや職業適性診断，県立高等技術専門校における職業訓練等を通じて，若者の就業促進を図ります。また，働く意欲のある高齢者が，これまで培った能力や経験を生かし，生涯現役で活躍し続けられる就労支援に取り組みます。
- 中山間地域の立地企業に対し，地元雇用を奨励するとともに，助成制度を活用した産業団地や民間遊休地等への企業誘致を促進します。
- 中山間地域において，女性が，希望するワークスタイルや結婚・出産・子育てなどのライフステージに応じた自分らしい働き方を実現できるよう，女性の就業継続支援や男性の育児休業の取得促進に取り組みます。

▶ 地域資源の販路・消費拡大

- 新型コロナ危機の影響を踏まえ，販売のリスク分散や，地域特性を生かした質の高い農林水産物・加工品の販路拡大を図るため，インターネット等を活用した新たな販売チャネルの確保に取り組む意欲ある事業者を支援します。
- 地域の中小企業の経営指導を担う商工会等が，地域資源を活用した商品開発や新事業展開など事業者に通じた経営課題等を解決するための取組を支援します。
- 県内の伝統的工芸品の展示会への出展を支援するなど認知度の向上に取り組むとともに，「BUYひろしま」を通じて，県内製品の消費拡大に向けた取組を推進します。

(3) 地域資源を生かし、つなげる、魅力ある観光地づくり

ポイント

◆ 国内外の観光客に向けた観光資源の磨き上げと周遊促進

- 新型コロナの影響により、密を避け、近場や自然の中での観光へ関心が高まっている中、四季折々のアクティビティだけではなく、里山や里海の自然と人々の暮らしが一体となった情景、神楽・花田植等の地域で受け継がれてきた伝統文化や伝統行事、古い歴史的景観を留める町並みや港町といった魅力を通じた、中山間地域ならではの価値を提供します。こうした考えのもと、中山間地域を有する市町やDMO[※]等と連携して、観光客の滞在や周遊に繋がる観光プロダクトの開発に取り組み、観光地としてのさらなる魅力の向上を図ります。
- 国内外の観光客が、快適かつ安全・安心に、中山間地域での周遊観光を楽しむことができるよう、円滑な移動等を可能にするストレスフリーな受入環境の整備に取り組みます。
- 瀬戸内サイクリングロード、やまなみ街道サイクリングロードの魅力向上を図るため、環境整備を推進します。

※ Destination Management/Marketing Organizationの略で、地域の多様な関係者を巻き込みつつ観光地づくりを行う舵取り役となる法人

▶ 観光資源をつなぐ道路ネットワークの形成

- 移動の円滑化による来訪者の満足度向上を図るため、高速ICや広島空港と観光地、観光地間をつなぐ道路における渋滞箇所や狭隘区間の改善を推進します。また、情報発信・地域連携拠点としての道の駅の機能向上を進めていきます。

活動事例

夢をカタチにできる**仕事**づくり



三次市 で活躍しています！

地域にたくさんの仕事をつくる 《小川 治孝さん》

農地や自然環境などの地域資源を活用した新たなビジネスモデルを構築し、地域内の起業や雇用を生み出す取組を行っています。その一つが、田んぼのオーナー制度によって農家と都市部の企業を結ぶ「スマイル10アール」です。また、現在は、耕作放棄地での新たな果樹生産と観光農園化に取り組んでいます。将来は、デジタル技術を活用した安定的な生産管理システムにもチャレンジしていく予定です。

【主な取組】

- NPO法人地域活性化プロジェクトチーム GANBOの運営
- 田んぼのオーナー制度「スマイル10アール」
- 休耕田を活用した果樹(ブルーベリー)栽培



Point !

「スマイル10アール」は、契約農家の所得向上だけでなく、子育て中の主婦も「儲かる内職(包装)」で活躍できる仕組みをつくり、広島県の「ひろしま里山グッドアワード」では最優秀賞を受賞しました。

三次市 で活躍しています！

一石三鳥のジビエプロジェクトに挑戦！ 《片岡 誠さん》

三和町の国道375号線沿いにある「物産館みわ375」を運営しています。物産館では地域の特産品の販売や地元食材を使った料理を提供するレストランに加え、鹿肉・猪肉のジビエ料理や食肉、ペットフードの加工販売も行っています。ジビエペットフードの需要拡大に伴って、加工処理施設の自社整備と併せて狩猟免許を取得し、害獣の駆除から解体、加工、調理までを一貫して行っています。

【主な取組】

- 物産館みわ375の運営
(特産品の販売、地元食材を使ったレストラン、
杵つき餅の加工 など)
- 獣肉処理施設での解体・精肉
- 鹿や猪の狩猟



Point !

猪肉の食肉に適さない部分に豊富な栄養があることに着目し、ペットフードの加工販売を思いつきました。県内ペットショップでの販路や需要は拡大しており、農家さんからは「害獣が減った」、飼い主さんからは「よく食べる」という嬉しい声をもらっています。

安芸高田市 で活躍しています！

「川根柚子」で地域を次代へつなぐ 《熊高 順八さん》

川根柚子協同組合の営業部長として、柚子の加工品を開発・販売し、県内外での認知度の向上に取り組んでいます。活動のきっかけは、地域に賑わいを取り戻すため、地域の地形や気候を活かせる柚子に着目し、昭和57(1982)年に地域を挙げて植樹を始めたことでした。「川根柚子」のブランド化を図り、持続可能な地域を目指しています。また、収穫時期には収穫際の開催など、地域内外のつながりづくりにも取り組んでいます。

【主な取組】

- 川根柚子の栽培
- 川根柚子の加工品開発・製造及び販売
- 川根柚子の収穫祭(収穫体験や加工体験 など)



Point !

地域が存続し続けるためには、しっかりとした売上基盤が必要だと考えています。収益を生み出すことができれば、地域に新たな雇用が生まれます。次代へ地域のバトンをつないでいくために、息長く活動を続けていきたいと思っています。

尾道市 で活躍しています！

柿の里を復活させ、里山の経済再生にチャレンジ 《宗 康司さん》

かつて、日本有数の「柿の里」として栄えた故郷の御調町が限界集落になっていく姿を前に、「柿の里を復活させたい」という想いをもち仲間たちと「尾道柿園」を作りました。

柿園では、干し柿などの柿製品の製造と全国販売のほか、柿渋工房でのカフェ運営や体験会なども行っており、地域雇用と里山経済を活性化させるビジネスモデルを創るべく挑戦を続けています。

【主な取組】

- 柿製品の開発・製造・加工・販売
- 尾道柿渋工房での柿をテーマにしたワークショップの企画・運営、カフェの運営 など



Point !

「尾道柿渋工房」では、柿渋製造のほか、染色体験や仕込み体験など、柿をテーマにしたワークショップも開催しており、「柿文化」の魅力を世界に発信する拠点として、訪れる人たちに、御調に根づく歴史と伝統を伝えています。

竹原市 で活躍しています！

地域の隠れた“逸品”を全国へ届ける 《酒井 望さん》

竹原市の地域おこし協力隊として赴任し、平成30(2018)年に地域の方々と一緒に一般社団法人「産業振興支援センター おなし福寿畑」を設立しました。地域の逸品を全国に届ける「広島ギフトいちばん屋」の運営や地域の魅力発信、子どもの野外体験活動への支援など、様々な活動を通じて地域に寄り添いながら、活性化に取り組んでいます。

【主な取組】

- 一般社団法人産業振興支援センターおなし福寿畑での活動
- 広島ギフトいちばん屋の運営
- 地域伝承紙芝居作成
- 子どもたちに向けたイベント・スタディツアー など



Point !

「広島ギフトいちばん屋」は、私が大変な時にいつも助けていただいた地域の事業者さんを応援したいと始めた、「地域産品」のネットショップです。県内各地の仲間とも連携し、自慢の逸品を全国にお届けしています。

東広島市 で活躍しています！

捨てられていた羊毛に新たな価値を 《山田 芳雅さん》

東広島マーケット「ひとむすびの場」を学生時代に始めたことをきっかけに、平成29(2017)年に合同会社ひとむすびを設立しました。地域内で「人とモノとお金と情報」を循環させることを目的に、様々な活動を行っています。

また、地域おこし協力隊として着任した豊栄では、「豊栄羊毛プロジェクト」を立ち上げ、羊毛製品の作成・販売や体験イベントを行っています。

【主な取組】

- 羊毛製品の作成・販売・手作り体験
- 合同会社ひとむすびの運営
- 東広島マーケット「ひとむすびの場」の運営
- 自然・農業体験スクールの運営
- 「東広島まるひネット」による地域情報の発信



Point !

近所の農家さんから「いつも捨てている羊毛をどうにかできないか」と相談を受けたのをきっかけに「豊栄羊毛プロジェクト」がスタートしました。現在は、空き家となっていた古民家で「豊栄ウール工房」を運営しています。地域のおばあちゃんたちの憩いの場にもなっています。

庄原市 で活躍しています！

田舎暮らしで広がる交流 《菱 千尋さん》

東京で何不自由ない生活を送る一方で、その便利さに違和感を抱き、母の生家がある庄原市にターンし、平成23(2011)年から、都市部の田舎を持たない方も田舎暮らしが体験できる「暮らし宿 お古」を始めました。ここでは、周囲の自然環境を活用し、「よもぎオイル作り」や「シイタケ植菌」など様々なワークショップも開催し、地域内外の人が交流できる場づくりを楽しんでいます。

【主な取組】

- ・ 「暮らし宿 お古」の運営
- ・ 自然環境を活用したワークショップ
- ・ 手作り商品のオンラインショップ



Point !

「暮らし宿 お古」は、祖父母が暮らしていた古民家を改装しています。携帯電話も圏外で、かまどでご飯を作り、五右衛門風呂を焚くなど、日本古来の暮らし体験を提供し、今では全国各地や海外からお客様に来訪してもらっています。

安芸太田町 で活躍しています！

棚田を保全し、地域への共感者の交流の場を創出 《友松 裕希さん》

地域おこし協力隊として井仁地域の活性化に携わり、クラウドファンディングにより、日本棚田百選の一つである「井仁の棚田」に、初めてのカフェ「棚田カフェ イニ ミニ マニモ」をオープンしました。

また、地域自主活動組織の一員として、地域内外の人たちと共に、井仁の活性化や棚田の保全活動にも取り組んでいます。

【主な取組】

- ・ 「棚田カフェ イニ ミニ マニモ」の運営
- ・ 地域自主活動組織「いにびちゅ会」の事務局運営
- ・ 棚田保全維持活動



Point !

井仁の棚田を見て楽しむだけでなく、くつろぎながら棚田米や地元産野菜を味わえる場所を作ろうとカフェをオープンしました。このカフェが、地域と外部をつなぐ交流の場になるよう、イベントや情報発信にも力を入れています。

世羅町 で活躍しています！

地域の価値に触れ、にぎわいを生む拠点づくり 《吉宗 五十鈴さん》

世羅町の魅力を内外に伝え、地域と人をつないでいくため、「世羅高原カメラ女子旅」や「ひろしま食べる通信」を通じた情報発信を行っています。

平成30(2018)年に、築170年の宿坊をリノベーションしたカフェ「雪月風花 福智院」をオープンし、地元食材を使ったメニューの提供や観光客の周遊拠点としての役割を担うことにより、地域への経済循環とにぎわいを生み出すことを目指しています。

【主な取組】

- ・ 世羅高原カメラ女子旅の企画・運営
- ・ 「ひろしま食べる通信」の編集
- ・ 宿坊カフェ「雪月風花 福智院」の運営



Point !

※吉宗 五十鈴さん(写真左)

「福智院」は、弘法大使が開いた今高野山の参道にあつた宿坊でした。そんな地域の歴史や風情を感じながら、地域内外の人たちがお茶を飲んだり、勉強会やイベントに参加したりするなど、楽しく交流できる場所となっています。

竹原市 で活躍しています！

古民家カフェで里山体験を提供し、人を呼び込む 《福本 博之さん》

竹原市の里山、仁賀地域で古民家を再生したカフェ「スペースアンソロジー」を運営しています。ここでは、床に煉瓦を敷き詰めたり、壁を塗って絵を描いたり、できるだけ自分たちの手で改装しました。

色々な方が、ふとした時に立ち寄れる、心とからだに優しい居場所づくりを目指して、交流を深めるための定期的なイベントなども開催しています。

【主な取組】

- ・ 古民家カフェ「スペースアンソロジー」の運営
- （グランピングなどのアクティビティ体験の提供
マルシェや教室などのイベントの実施
地元で作られた雑貨の販売
地域の食材を使った料理の提供



Point !

仁賀で、地域内外の様々な人たちが出会い、つながり、新しいことが始まるきっかけを作るため、訪れた人が楽しめるアクティビティ拠点づくりにも取り組み、グランピングやサイクリングなどを通じた里山ライフ体験も提供しています。